

自然と共生する地域社会の形成

国の方針(北海道総合開発計画)

北海道総合開発計画では、主要施策の一つとして、「地球環境時代を先導し自然と共生する持続可能な地域社会の形成」を掲げ、①自然共生社会の形成、②循環型社会の形成、③低炭素社会の形成などの取組を進めることとしています。

むろけんの任務

室蘭開発建設部では、環境に配慮した社会資本整備を行うほか、河川環境の保全に関する学習会の開催など、自然豊かな地域づくりに貢献しています。

日高自動車道では自生種を用いた道路緑化に取り組んでいます

日高自動車道のうち門別厚賀道路は、環境に配慮した整備を進めており、工事で伐採した自然林を「再生」及び「増大」させるため、様々な方法で道路の緑化に取り組んでいます。

～道路緑化の一例～



苫小牧道路事務所で維持管理している苗木



職員による育苗管理



職員による植樹状況

門別厚賀道路周辺の自生種(コナラ、カシワ、ケヤマハンノキ、オニグルミ等)の種子を採取し、育成させた苗木を、門別厚賀道路脇の斜面に植えています。

育苗を行うには、定期的な水やり作業など日々の維持管理作業が必要です。苫小牧道路事務所では、職員による育苗管理を行っています。

自然との調和に配慮したかんがい排水施設 ～国営かんがい排水事業 安平川地区(安平町)～

胆振管内安平町の水田・畑地は、安定的なかんがい用水が不足しており、排水能力の不足により湛水被害も生じています。

このため室蘭開発建設部では、用水施設整備と併せて農地の水はけを良くするための排水施設整備を行っています。この事業を行う上で、用水路周辺の桜並木の保全対策や魚類や水生物に配慮した排水路工事を行うなど、地域景観や生態系への配慮に努めています。

用水路～農業に必要な水を田畑に導く水路。 **頭首工**～河川等から用水路へ必要な用水を引き入れるための施設。 **揚水機場**～水を高所に揚げる施設。

ファームpond～水をいったん溜め、必要な時に集中的に利用するための水量調整用の池。

排水路～農作物の生育に支障をきたす過剰な水を除き、洪水時には水を迅速に排除して浸水被害を軽減する水路。

環境に配慮した排水路整備

光起川排水路



工事直後

排水路に落差が少ない階段を設置し、魚に対してバリアフリーとなる構造になっています。



その後の様子

畑における用水の安定供給のイメージ図



安平川支流の光起川にはニジマス、ウグイ等の魚類が豊富に生息しています。工事では、排水路の傾斜を緩やか（多段式）にすることにより、跳躍力のない魚でも遡上できるようにしました。

河川環境保全のため、汚水・濁水発生防止に関する勉強会を開催しました ～民間や地方公共団体の技術者も参加～



室蘭開発建設部は、河川環境を守るため、河川工事等で発生する汚水・濁水が河川や海に流れ込み、漁業被害や一般住民に影響が生じないように、十分な対策を行った上で工事を実施しています。

また、工事等における汚水・濁水の発生防止・抑制とその必要性をより広く周知するために、「河川の汚濁とその防止対策に関する勉強会」を平成23年2月15日に開催しました。

本勉強会には 土木技術者の育成に役立てていただくため、地方公共団体及び民間の技術者の方々にも来ていただきました。

～編集にあたって～

「むろけんRUN」の今回のテーマは「自然と共生する地域社会の形成」です。地球規模での環境問題が深刻化し、国民の自然に対するニーズが多様化している中で、北海道の豊かな自然を保全していくことが私たちの生活にとっても重要だと考えています。

*今回は「日高版」として、日高の事業を中心にご紹介しています。

【発行・編集責任者】

北海道開発局室蘭開発建設部

広報官 0143-25-7051

地域振興対策官 0143-25-7053

〒051-8524 室蘭市入江町1番地14

<室蘭開発建設部ホームページ>

→<http://www.mr.hkd.mlit.go.jp/>

北海道開発局では、「北海道開発局行政へのご意見・ご要望」メール窓口を開設しており、広く道民・国民の皆さんからのご意見をお聞きしています。詳しくは、こちらをご覧ください。 → http://www.hkd.mlit.go.jp/iken/iken_yobo.html